

高畠町環境ワークショップ よれは たかはた 第4回



発行日:令和6年1月16日

発行者:高畠町生活環境課 ゼロカーボン推進室 TEL:0238-52-1215

「よれはたかはた」は、自然と共生しながら、持続可能な高畠町を未来に引き継いでいくために、この町で暮らす人が「小さく 楽しく あたりまえ」に楽しく話し合い、環境にやさしい面白い活動を生み出す場です。

第4回は11月3日に開催したエコフェスタの振り返りと、一緒に活動する仲間を増やすための発表会について話し合いを行いました。

プログラム

日時:令和5年11月29日(水)
19時~21時
場所:中央公民館201研修室
参加者:16人

1. 前回の内容
2. 話し合い「ふりかえり、続ける方法」
3. 発表
4. 仲間を増やすプレゼンテーションとは

仲間を増やすプレゼンテーションとは

仲間を増やす上で大事なものは「共感」してもらうこと。
その共感を生むには、今まで興味がなかったことを実は面白いことなんだと理解してもらうことが必要。そして自分もそこに参加したいと思えるくらい理解してもらうためには「学習」が大切。

柿木 結允さん
(かっきー)



環境アドバイザーハ木さん
抹茶寒天&黒砂糖寒天



本日のデザートです
2つの味が楽しめました!

エコフェスタの振り返り！

- ①やってみて良かった点②想定外、驚き、発見した点③見えてきた改善点④継続することで、将来ありたい姿
- ⑤継続のため、自分達がやること
- ⑥発表会は、一緒に活動する仲間を集めます。皆さんのチームはどんなことをやりますか。また、誰に来てほしいですか。

企画：仲良しモザイクアート

- ①子どもがとても楽しそうだった！抽選会が特によかった
- ②高齢の方も積極的に参加してくれた
- ③抽選会の仕組み モザイクアートのやり方
- ④町民同士のコミュニケーションの向上



企画：よれは発見市

- ②食器も需要があった
子ども服の需要が高く、ぬいぐるみなども子供に人気だった
- ③大人の服も人気があるとわかり、品揃えが少なかったため
もっと集めてもよかった
- ④空き家を活用した常駐可能な活動
+イベントに乘っかり知名度UP
負担の少ない活動にする
欲しい人を自由に募ることができる形の構築
- ⑤(フリマ)アカウントを作成
- ⑥発表会ではミニ発見市開催、企業や学生に来てほしい



企画：規格外でもおいしいじゃない

- ①美味しいと言ってもらえた！楽しんでもらえた！
- ②規格外フルーツを販売してほしいという声があった
- ③日当たりが良くて商品が悪くなりそうだった
- ④価格が下がる果物をリメイクすることで、農家さんにも貢献できる
- ⑥新たな活用方法を広げるためにも高校生や大学生に来てほしい



企画：これは何ごみ!?

- ①環境問題を考えるきっかけになった、多世代との交流ができた
意外とハマってる人がいた、町民に身近なごみ問題を企画に出来てよかった
- ②ごみの分別に興味を持ってくれる人が多かった
- ③出題方法を工夫したい
- ④正しいごみの分別で町全体のごみが減る、ポイ捨ても減る
ごみ捨てが楽しい環境を作る